



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
 コード番号 9438 URL https://ir.mti.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 2023年6月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	13,613	4.9	△18	—	187	△36.1	△326	—
2022年9月期第2四半期	12,975	△0.5	599	△51.4	292	△65.2	123	—

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 △391百万円(—%) 2022年9月期第2四半期 47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△5.95	—
2022年9月期第2四半期	2.25	2.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	28,879	17,052	46.2
2022年9月期	29,265	17,877	48.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 13,349百万円 2022年9月期 14,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年9月期	—	8.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	1.2	200	△77.0	400	△17.7	△400	—	△7.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期2Q	61,263,000株	2022年9月期	61,263,000株
2023年9月期2Q	6,399,973株	2022年9月期	6,450,273株
2023年9月期2Q	54,820,844株	2022年9月期2Q	54,762,393株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

補足説明としての決算説明はオンデマンド配信形式とし、2023年5月12日(金)に説明動画および資料を当社ホームページへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2023年9月期 第2四半期の概況 (2022年10月1日～2023年3月31日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

連結業績における売上高は13,613百万円（前年同期比4.9%増）となり、売上総利益は売上原価の増加により9,132百万円（同0.3%減）となりました。

営業利益については、広告宣伝費、外注費の増加を主因とする販売費及び一般管理費（販管費）の増加により、△18百万円（前年同期は599百万円）となりました。

経常利益については、持分法投資利益174百万円を計上（前年同期は持分法投資損失329百万円の計上）したことにより、187百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失については、特別利益に持分変動利益として139百万円を計上しましたが、2022年10月に連結子会社である母子モ株式会社の株式を連結子会社である株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスに一部株式譲渡したことに伴い、その株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、△326百万円（前年同期は123百万円）となりました。

連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

	2023年9月期 第2四半期	2022年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	13,613	12,975	+638	+4.9
売上原価	4,481	3,814	+666	+17.5
売上総利益	9,132	9,160	△28	△0.3
販管費	9,151	8,561	+589	+6.9
営業利益（△は損失）	△18	599	△617	—
経常利益（△は損失）	187	292	△105	△36.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は損失）	△326	123	△449	19.6

販管費内訳(2022年10月1日～2023年3月31日)

	2023年9月期 第2四半期	2022年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	9,151	8,561	+589	+6.9
広告宣伝費	1,016	758	+258	+34.1
人件費	3,947	3,835	+111	+2.9
支払手数料	1,491	1,538	△46	△3.0
外注費	1,041	885	+155	+17.6
減価償却費	591	633	△42	△6.7
その他	1,062	909	+152	+16.8

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しています。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

① コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

同事業の有料会員数は316万人（2022年9月末比4万人減）となりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いているため、有料会員数はほぼ横ばいで推移しています。

売上高は、前年同期比で有料会員数が減少した一方、連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおける動画販売を主因に9,502百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費の増加に伴い販管費が増加したことにより、2,794百万円（同2.2%減）となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は57万人（2022年9月末比2万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に注力し、2023年3月末の同店舗数は1,532（2022年9月末比268増）となりました。

売上高は、「クラウド薬歴」および子育てDX事業等の売上高が拡大したことにより2,242百万円（前年同期比18.9%増）となりました。営業損失については、増収効果と費用抑制により219百万円の損失（前年同期は648百万円の損失）となりました。

③ 学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2022年4月にクラウド型校務支援システム『BLEND』を新規に導入した学校法人からの月額利用料が増加したことにより、309百万円（前年同期比155.1%増）となりました。営業損失については、売上高が大幅に増加しましたが、前期の下期よりソフトウェア資産計上を厳格運用したことに伴う外注費の増加により、461百万円の損失（前年同期は232百万円の損失）となりました。

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における大手法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高はAI事業の受注が減少したことにより2,417百万円（前年同期比4.8%減）となりました。営業損失については、AI事業の減収および、大手法人向けDX支援事業での低採算案件への対応が続いていることに伴い売上原価が増加したことを主因とし、807百万円の損失（前年同期は176百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は28,879百万円となり、2022年9月末対比386百万円減少しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金が増加しましたが、未収消費税等の減少を主因に553百万円減少し、固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少しましたが、投資有価証券の増加を主因に167百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等が増加したことを主因に741百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより302百万円減少しました。

純資産の部については、親会社株主に帰属する四半期純損失として326百万円を計上し、配当金の支払いもあり825百万円減少しました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物は12,763百万円となり、2022年9月末対比665百万円の増加となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払いがありました。主に税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費の増加、未収消費税等の受取等により2,105百万円の資金流入（前年同期は788百万円の資金流出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により616百万円の資金流出（前年同期は1,413百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや長期借入金の返済による支出等により798百万円の資金流出（前年同期は776百万円の資金流出）となりました。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期 第2四半期	2,105	△616	△798	12,763
2022年9月期 第2四半期	△788	△1,413	△776	12,590
2022年9月期	△1,393	△2,460	343	12,097

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業の売上拡大および赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強くなり、2023年4月からの導入学校数は566校（2022年4月比226校増）となりました。先行投資は当面続きますが、さらなる売上成長に繋げていきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施していきます。

特に調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディopalホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充することにより、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた子育てDX『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

なお、2023年9月期の通期連結業績予想については、本日発表した「第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しています。

2023年9月期 通期 連結業績予想
(2022年10月1日～2023年9月30日)

	(百万円)	前期比 (%)
売上高	26,800	+1.2
営業利益	200	△77.0
経常利益	400	△17.7
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△400	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,097,658	12,763,647
受取手形、売掛金及び契約資産	4,294,825	4,512,835
その他	2,420,195	981,139
貸倒引当金	△34,097	△32,814
流動資産合計	18,778,582	18,224,807
固定資産		
有形固定資産	193,060	221,499
無形固定資産		
ソフトウェア	2,058,982	2,165,980
のれん	655,709	510,531
顧客関連資産	912,600	702,000
その他	163,473	204,126
無形固定資産合計	3,790,765	3,582,639
投資その他の資産		
投資有価証券	3,675,499	4,001,987
敷金及び保証金	337,475	333,005
繰延税金資産	2,394,793	2,404,868
その他	106,411	121,347
貸倒引当金	△10,904	△10,904
投資その他の資産合計	6,503,275	6,850,304
固定資産合計	10,487,102	10,654,442
資産合計	29,265,684	28,879,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,068,638	1,112,491
短期借入金	—	9,025
1年内返済予定の長期借入金	751,780	751,780
未払金	1,221,218	1,202,101
未払法人税等	19,236	772,133
契約負債	2,356,643	2,079,528
その他	968,835	1,201,092
流動負債合計	6,386,353	7,128,151
固定負債		
長期借入金	3,178,010	2,802,120
退職給付に係る負債	1,816,159	1,889,671
その他	7,432	7,005
固定負債合計	5,001,601	4,698,797
負債合計	11,387,955	11,826,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,218,512	5,232,078
資本剰余金	6,768,841	6,769,335
利益剰余金	5,224,287	4,458,031
自己株式	△3,257,237	△3,230,813
株主資本合計	13,954,404	13,228,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,554	108,312
為替換算調整勘定	89,490	65,344
退職給付に係る調整累計額	△53,931	△52,582
その他の包括利益累計額合計	111,114	121,074
新株予約権	110,774	107,751
非支配株主持分	3,701,436	3,594,841
純資産合計	17,877,729	17,052,300
負債純資産合計	29,265,684	28,879,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	12,975,547	13,613,617
売上原価	3,814,933	4,481,114
売上総利益	9,160,614	9,132,503
販売費及び一般管理費	8,561,400	9,151,068
営業利益又は営業損失(△)	599,214	△18,565
営業外収益		
受取利息	65	52
為替差益	23,867	—
持分法による投資利益	—	174,973
その他	29,078	60,384
営業外収益合計	53,011	235,409
営業外費用		
支払利息	2,892	6,135
持分法による投資損失	329,690	—
為替差損	—	7,734
支払手数料	—	7,903
その他	26,842	7,936
営業外費用合計	359,425	29,710
経常利益	292,800	187,134
特別利益		
関係会社株式売却益	12,417	—
持分変動利益	76,481	139,531
特別利益合計	88,898	139,531
特別損失		
固定資産除却損	10,240	4,105
減損損失	909	10,546
投資有価証券売却損	3,240	13,450
投資有価証券評価損	—	7,148
段階取得に係る差損	4,700	—
特別損失合計	19,089	35,251
税金等調整前四半期純利益	362,608	291,414
法人税、住民税及び事業税	7,705	703,393
法人税等調整額	351,151	△10,956
法人税等合計	358,856	692,436
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,752	△401,022
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△119,577	△74,862
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	123,329	△326,160

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,752	△401,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,628	△1,857
為替換算調整勘定	35,342	△24,879
退職給付に係る調整額	△1,435	1,348
持分法適用会社に対する持分相当額	30,512	35,348
その他の包括利益合計	43,791	9,960
四半期包括利益	47,543	△391,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,511	△316,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△118,968	△74,862

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	362,608	291,414
減価償却費	694,660	672,354
減損損失	909	10,546
のれん償却額	109,425	136,177
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,564	△1,282
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65,785	74,142
受取利息及び受取配当金	△65	△52
支払利息	2,892	6,135
持分法による投資損益 (△は益)	329,690	△174,973
段階取得に係る差損益 (△は益)	4,700	—
持分変動損益 (△は益)	△76,481	△139,531
固定資産除却損	10,240	4,105
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,148
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,176	13,450
売上債権の増減額 (△は増加)	191,422	△222,549
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91,303	48,174
未払金の増減額 (△は減少)	△15,307	△51,997
未払又は未収消費税等の増減額	△481,879	1,057,174
その他	26,608	△74,319
小計	1,127,293	1,656,119
利息及び配当金の受取額	62	52
利息の支払額	△2,892	△6,135
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,912,569	455,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	△788,106	2,105,948
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,979	△36,079
無形固定資産の取得による支出	△1,336,048	△583,419
投資有価証券の売却による収入	16,196	1,504
事業譲受による支出	△44,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△29,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14,014	—
その他	5,417	1,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,413,899	△616,364

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	204	60,000
短期借入金の返済による支出	—	△50,975
長期借入金の返済による支出	△250,545	△375,890
株式の発行による収入	28,660	27,132
非支配株主への払戻による支出	—	△2,940
配当金の支払額	△439,609	△440,095
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,940
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△85,400	△12,500
子会社の自己株式の取得による支出	△29,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776,489	△798,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,113	△25,385
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,949,381	665,988
現金及び現金同等物の期首残高	15,540,084	12,097,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,590,702	12,763,647

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	8,952,620	1,845,506	121,247	1,561,974	12,481,349	—	12,481,349
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	11,039	30,383	—	452,775	494,198	—	494,198
顧客との契約から 生じる収益	8,963,659	1,875,890	121,247	2,014,750	12,975,547	—	12,975,547
外部顧客への売上高	8,963,659	1,875,890	121,247	2,014,750	12,975,547	—	12,975,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112,459	9,571	—	523,974	646,005	△646,005	—
計	9,076,118	1,885,461	121,247	2,538,724	13,621,552	△646,005	12,975,547
セグメント利益 又は損失(△)	2,857,409	△648,681	△232,956	△176,321	1,799,449	△1,200,235	599,214

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,200,235千円には、セグメント間取引消去△16,918千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,183,316千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	—	—	909	909	—	909

(のれんの金額の重要な変動)

「その他事業」セグメントにおいて、AI Infinity株式会社の株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが149,142千円発生しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	9,306,998	2,212,451	309,264	1,368,068	13,196,783	—	13,196,783
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	42,424	24,212	—	350,197	416,834	—	416,834
顧客との契約から 生じる収益	9,349,422	2,236,664	309,264	1,718,266	13,613,617	—	13,613,617
外部顧客への売上高	9,349,422	2,236,664	309,264	1,718,266	13,613,617	—	13,613,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153,268	5,431	—	698,911	857,610	△857,610	—
計	9,502,690	2,242,095	309,264	2,417,178	14,471,228	△857,610	13,613,617
セグメント利益 又は損失(△)	2,794,644	△219,897	△461,465	△807,100	1,306,180	△1,324,745	△18,565

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,324,745千円には、セグメント間取引消去9,178千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,333,924千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	1,992	—	8,554	10,546	—	10,546

3 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であるモチベーションワークス株式会社が営む「学校DX事業」について重要性が増したため、内部管理上の区分を見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「その他事業」の3区分から、「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「学校DX事業」「その他事業」の4区分に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載していません。